



MISATO Town Assembly

美郷町議会だより

2024 **10** No.72

発行／宮崎県美郷町議会
編集／議会広報広聴特別委員会 広報部会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1
TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137

- 町政を問う! ~第3回定例会一般質問~ 等…2~6P
- 第3回定例会 令和5年度決算認定等 ……6~8P
- 第3回定例会 補正予算 ……………9P
- 議会活動報告 ……………10P
- 議会だよりモニター意見交換会
- 議員ひと言コーナー ……………11P
- 美郷町の元気づけと／編集後記 ……………12P

議会だよりはスマートフォンやパソコン、タブレットからでもご覧になれます。



ひらやま えいじ
平山 栄三 さん
(山三ヶ簡易郵便局長)

7月1日付けで着任しました。
宜しくお願いします。

おがわ ひろふみ
尾川 博文 さん
(宇納間郵便局長)



日頃より、少しでも皆様のお役に立てるよう、
地域の拠り所になるような郵便局を目指しま
す。ぜひお立ち寄りください。



たなか こうへい
田中 耕平 さん
(入下郵便局長)

みなさんと一緒に美郷町を
盛り上げたいと思っています。

町政を問う

一般質問

令和6年第3回定例会の一般質問は9月5日・6日に行われ、8名の議員が一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容は次のとおりです。

また、本会議でのやりとり(会議録)がホームページで閲覧でき、一般質問もすべて見ることができますので、ぜひご覧下さい。(議会終了後、会議録の調製等に3月程度かかりますので、あらかじめご了承下さい。)



北郷地区「雄滝」につづく作業道の町道認定について

- 山本** この作業道は、水源地の点検に行くのも困難な状況である。このまま手をつけず放置しておいて良いものか？
- 町長** このまま放置しておいては、いけないと考える。
- 山本** 優れた観光資源へのアクセス道であり、町の水道施設の管理道でもある。「町道の路線認定基準に関する規定」において、町道として認定できないか。
- 町長** 認定は難しいが、観光資源、水源管理の二面から今後の整備について検討していきたい。



▲北郷地区の「雄滝」(おたき)



やまもと ふみお
山本 文男 議員

男女共同参画について

- 山本** 「まちづくり懇話会」の女性委員の方から、子育て世代の委員や女性への配慮について要望があったようだ。その後の町の対応は。
- 町長** 男女共同参画推進の観点から配慮が必要であり、各課に対応を指示した。具体的には、本年3月の「ちくせん交流会」において授乳室やキッズスペースを設置した。子育て支援センターにおいても柔軟な対応をしていく。
- 山本** 男女共同参画推進条例の中の男女共同参画審議推進委員が3年間不在のまま。委員不在のままでは、条例そのものになり立たない。条例は町民との約束と考える。約束が守られていないのでは。
- 町長** 審議が必要な時に審議推進委員を選任することにしてはいたが、空白がないように委員を選任していく。委員選任の空白を作って、申し訳なかった。

議会を見にこんね!

どなたでも傍聴できます。
傍聴席の人数制限はございませんので、お気軽に議場へお越しください!

※体調不良の方は傍聴をご遠慮願います。また、手指の消毒をお願いしております。

第3回定例会
の傍聴者数
17人

第2回臨時会
の傍聴者数
0人

※臨時会は一般質問を行いません。

次回定例会は、
12月6日(金)
開会予定です。

鳥獣害対策について

甲斐 サルの生息状況について、現在どれほどの頭数があるのか、町として把握しているのか。

農林振興課長 私達も状況を把握していないためアンケート調査を全町民に対して行います。今こちらで把握しているのは出没件数と場所を考慮いたしまして、3から4集団あり、目撃情報から30頭から40頭の群れで活動、また、はぐれオスザルについても数例の情報がある。

甲斐 サルにGPSを装着し、その動きを農家も確認できることにより追い払いができる事業を行ってはどうか。

町長 個体数を減らすことが重要。対策効果を出している市町村に職員を派遣し、GPSによる生息調査を来年本格的に行う。9月補正に準備調査を組み、7年度にしっかりとした有害対策を取り組む予定。農家のモチベーションが下がらないように、また、人的被害が出る前に手を打ちたい。

甲斐 ドローンによる追い払いはどうか。

町長 追い払いは良いが、それがどこへ行くのか懸念される。先進地の取り組みも参考にし、有効であれば考える。



かい ひでのり
甲斐 秀徳 議員

栗園のドローン防除について

甲斐 生産者が高齢者となり、高品質の栗を生産する上でドローン防除を考える必要があるのではないかと。

町長 ドローン防除は、ある程度の効果がある。高齢化していく中、労力を軽減することでドローン防除は必要になる。栗、稲に限らず、美郷町には梅や柚子などいろいろありドローン防除が一番良い。補助となると、どれくらいの経費が掛かるか精査し、スマート農業に変えていきたい。

美郷町観光協会の必要性について

川村 美郷町には令和6年度当初予算で1,381万8千円の補助を受けて、活動している(一社)美郷町観光協会が存在しているが、活動している事業が何も見えてこない気がする。このような観光協会は本当に必要なのか、町長の考えを伺う。

町長 町民の目からは見えにくいですが、一定の取り組みは見られているので、その点については了解してほしい。しかし、改善する所がある。

組織体制と各種団体との連携が不十分だった。自主的な観光協会にしていきたい。

観光協会は独立した組織なので、町としてはあまり口をはさみたくないが、議会から懸念がある事は伝えていきたい。独自性をもたせた見える観光協会にしていきたい。令和6年度、令和7年度の変化をみて対応していきたい。

川村 1年間経過を見て、変化がない場合は再度質問させていただきたい。



かわむら よしゆき
川村 義幸 議員



▲(一社)美郷町観光協会



なかしま ならお
中嶋 奈良雄 議員

農業の担い手・育成対策について

中嶋 美郷町は農林業等、第一次産業で所得を得ている人が多く、町を支える大事な産業の一つであるが、高齢化、後継者不足に伴い離農、廃業をする人が増えてきているが、その対策は。

町長 現在、農家の所得向上と農地保全、遊休地解消、担い手や後継者の確保、育成等の様々な支援策を講じており、その中には他の市町村には無い町独自の支援策もあり、これらの支援が離農や廃業対策にも繋がるのではないかと考えているため、現在の支援策を継続して実施していきたい。

これからの農業支援について

早川 これから先の農業（米づくり）を続けていく上で水田の土手・あぜの管理が軽減出来るように、町として何か対策を考えていないか伺う。

町長 コンクリート張り工等は予算的に膨大になる。それに変わるものとして令和5年度から防草シート等の実証実験を行っている。現段階では、メリット・デメリットがあるようである。
防草シートと被覆植物での対策、特に被覆植物にこだわりたい。実証実験を重ね、推奨していきたいと考えている。これであれば田園風景も壊すこともないと思われるので、進めていきたい。



▲被覆植物（センチピートグラス）

農業資材の物価高騰対策について

中嶋 物価高に伴い町民生活に影響が出ていると思われるが、農林業においても燃料、肥料、資材、機械代等が値上がりしており、離農を推し進める一つの要因となっているが、物価高に対する支援策は。
町長 農業従事者の自助努力でもどうしてもない、外的要因や社会情勢による値上がり等、農業者に責がない部分については、きちんと補助していきたいと思っている。

農業所得の安定化について

中嶋 全国的に賃上げが進んでいる中、農家所得については物価高騰もあり所得として下がっているのではと懸念しているが、その支援策は。

町長 国の食料・農業・農村基本計画が改正されて、今後国の方で農作物のコスト面を含めた適正な価格への見直しに向けて議論されていくと理解しており、ある程度今までと違った収入の安定に繋がるのではと期待している。



はやかわ せつお
早川 節夫 議員

早川 自走式草刈機（モア）は農家にとって必需品になると思われるが、スマート農業に力を入れている町としては、この自走式草切機（モア）も助成・支援する考えはないか伺う。

町長 現在購入制度はあるので、申請して欲しい。出来れば中山間組織で購入して頂き、共同利用で進めて欲しいと思っている。中山間組織を脱退した所は、町のいろいろな助成の中で、その集落を助けていきたいと思っている。



▲自走式草刈機（モア）

携帯電話の不感地帯解消について

- 若杉** 町内各地の不感地帯の実態を、具体的に定期的に把握しているのか。
- 町長** 毎年国からの調査があり、西郷の一地区を報告していた。ただし昨年辺りから繋がらない地区があるとの情報なので、区長を通じて町内全域の実態調査を予定している。
- 若杉** 町内の携帯電話エリアをマップ化できないか。
- 町長** 大変な作業ではあるが、携帯会社ごとの感知・不感地帯のマップ作成は不可能では無いと考える。
- 若杉** 不感地帯解消は費用対効果もあり、事業者の判断が大きいと考える。町内不感地帯や繋がりにくい地域住民と要望活動は出来ないか。
- 町長** 問題無いと考える、その場合には町としても協力したい。

▶ 神話街道の携帯電話感知地帯



町内義務教育学校の部活動について

- 若杉** 町内の3校の部活動の現状について伺う。
- 教育長** 美郷北義務教育学校はバレーボール・陸上・ソフトテニス、西郷義務教育学校はソフトテニス・陸上・野球、美郷南学園は野球・バドミントンを実施している。町内の参加率は87%で県下では57%となっている。
- 若杉** 休日拠点校方式の今後の展開は。
- 教育長** 現在はソフトテニスにおいて北郷と西郷、野球では西郷と南郷で実施している。生徒の学校間の送迎についてはスクールバスの運行(長期休業中)も行っている。今後は、生徒の希望に沿う形で拡充できればと考える。
- 若杉** 今後より一層の生徒数減少が懸念される、本町において危惧される問題点は。
- 教育長** 団体競技は厳しいものがあるが、拠点校方式により維持できればと考える。また文化部の設立も検討したい。

※休日拠点校方式とは…生徒数の減少等の問題により学校同士で休日の部活動を一緒に実施し、大会等にも参加する方法



わかすぎ しんじ 議員
若杉 伸児

町民医療関係情報のシステム管理について

- 川村** 町の1病院2診療所の医療情報は、電子カルテにて管理されている。現在、情報は病院を受診した方のみとなり、受診の無い方が急患の場合、必要な医療処置が遅れる場合があると思われる。改善する為に、町民個々の情報(特定健診・健康診断等)を西郷病院で管理し、時間外での対応ができるようシステム構築できないか伺う。
- 町長** 現在、国は電子カルテ情報の標準化や情報共有サービスの構築を進めている。実現すれば全国で個人の医療情報を閲覧することができるようになり、処方箋情報、検診結果、予防接種履歴等がすぐ確認できるシステムが構築される。町はそのシステムを同様に利用し、安全で迅速な医療体制が提供できるよう進めていく。



なかつ たけみつ 議員
中田 武満

森林環境譲与税の活用による林業振興について

- 川村** 林業は水源涵養、災害防止などの多面的機能が発揮できるように努め、適正な森林整備を行い、木材販売による町民の所得向上を図る必要がある。譲与税を活用し、下記の取組みが出来ないか伺う。
- ①森林整備作業員の確保支援
 - ②森林台帳の整備支援
 - ③森林作業路の補修整備
- 町長** 現在、譲与税活用により林業の担い手確保の為に、多様な補助を行っている。今後も継続し、充実して行く。台帳整備については、稼働している林地台帳・森林簿分散管理システムの2つ整備を進めていく。作業路整備も継続して進める。



▲美郷町の豊かな森林



かわむら よしひこ
川村 嘉彦 議員

介護車の購入助成について

川村 高齢者や身体障がい者がタクシーに乗降する時、車いすのままでは乗降が大変不便である。介護車は高額のため、タクシー会社が購入する際に町の助成が必要だと思うが、町長の考えを伺う。

町長 今後は検討すべきだと考えるが、現在助成は考えていない。

美郷町木質バイオマス供給協議会の事業について

川村 美郷町木質バイオマス供給協議会は、町の委託を受けてバイオマス発電事業等の調査を令和4年度は990万円、令和5年度は250万円、令和6年度は408万円をかけて調査を行っているが、内容とその成果を伺う。

町長 発電等の専門的な調査は、専門家に委託して行った。検証の結果、熱電供給や熱利用事業は年間収支が赤字になるとの結果が出た。また、バイオマスボイラーについては機械が高く厳しい状況ですが、最終的な結論はバイオマス供給協議会が出すと考えている。



▲他自治体にあるバイオマス発電所

令和5年度
決算

130億6,151万円を認定 その使われ方は...?

一般会計 97億円 特別会計 25億円 病院会計 7億円

主な実施事業

小規模水道施設等維持管理補助金

水道組合等が業者へ業務委託するろ過砂洗浄、水源地清掃等に対して助成を行いました。

令和5年度においては、台風の影響により水道管等の破損が発生し、修繕工事に対しても助成を行いました。

西郷地区	9水道組合	補助額	2,786,000円
北郷地区	4水道組合	補助額	1,628,000円
南郷地区	5水道組合	補助額	2,271,000円
計	18水道組合	合計	6,685,000円

安心生活創造推進事業

一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、障がい者世帯等が家族や友人のいる住み慣れた地域で、安心して生きがいのある自立した日常生活を営むことができるようにするための支援を行いました。

民生委員との連携により地域の気になる人の情報提供していただき、漏れのない支援体制の構築に努めています。



※フレイル・・・健康な状態と要介護状態の中間の段階の状態であり、対応しないと要介護状態に陥りやすい状態のこと。

(相談内容)

主な相談事項	件数
介護保険に関すること	57件
介護予防・フレイルに関すること	82件
保険医療	166件
障がい福祉・高齢者福祉サービス	114件
認知症に関すること	93件
その他(権利擁護・生活状況把握)	303件
合計	815件
見守り支援	2,583件

農業の振興

国や県の交付金事業及び補助事業を導入し、地域活性化や担い手の育成、農畜産物の生産性及び収益性の向上のために施策をおこないました。

○新規就農給付金

西郷2名 ・ 北郷2名 計4名
事業費 4,560,000円

○農業次世代人材投資事業（経営開始型）

西郷1名 ・ 北郷1名 計2名
事業費 3,000,000円

○新規就農基盤整備対策事業

南郷1名 鶏舎建設4棟
事業費 10,000,000円

※畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業への上乗せ助成あり

地区集会施設整備事業補助金

地域におけるコミュニティ活動を促進するため、集会、研修会等に利用する施設整備に対して助成をしました。

○花水流地区集会施設整備事業補助金

設計・管理費
集会施設建設工事費
敷地舗装工事費
建物表題登記・保存登記費
補助金額 40,248,000円



▲花水流コミュニティセンター

現 地 調 査

9月17日には、決算等審査特別委員会で現地調査を行いました。町内6箇所の施設や現地で担当者から説明を伺いました。



▲美郷栗選果場 早生栗の出荷状況



▲中小屋キャンプ場 コテージ解体・運営状況



▲新築された花水流コミュニティセンター

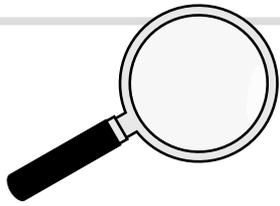


▲改修された奥の畑住宅

○美郷町会議規則により議会運営委員会に付託された下区の請願について報告します。

請願第1号 下区における集落機能の維持を求めること

査結果：採択しました



監査委員の目

(監査意見書 一部抜粋)

7月より峰村芳生代表監査委員と早川節夫議選監査委員によって約1ヶ月に渡り決算審査が行われ、9月4日議場において峰村氏より議会へ決算審査に関する意見報告が行われました。



▲監査委員による現地視察(スマート農業機械等購入)

○令和5年度は、令和4年度から続いた台風災害により災害復旧費が大幅に増加し、他の各種事業は例年より圧縮せざるを得ない状況であった。

町内受注業者側もオーバーフロー気味であったかと思われる。このため普通建設事業費の各種事業では減少したのもあったが、従来からの町の福祉、産業等分野の各種事業は適切に実施され、適正な財政運営が行われたと認められる。

○令和4年度の南郷地区コテージ施設に引き続き、令和5年度は(株)南郷温泉と(株)石峠レイクランドの指定管理も第3セクターから民間事業の(株)ケイメイに変更され、将来を展望した取組みがなされた。

認定付記事項として…

- ① 畜犬登録の漏れがないように対策を行うこと。また、狂犬病予防注射の接種率向上の取組みを行うこと。
- ② 現行の健康保険証は、令和6年12月2日から廃止され、新規発行されず、マイナンバーカードと一体化されるので、更なる町民への周知を図ること。
- ③ 自主放送番組(きららびじょん)は、住民の意向を反映させ、更なる住民の福祉の向上に繋がる内容に努めること。
- ④ 学校の統合やスクールバスによる通学等により、以前と比べて、地域住民と学校の隔たりが出てきているように思えるので、学校、PTA、教育委員会と連携して、地域に根差した存在となるような取組みをすること。
- ⑤ ふるさと納税の寄附額は、町の重要な事業に充当されているので、今後も寄附額を伸ばすよう努力すること。
- ⑥ 実測課税に移行前に、事前周知を徹底すること。
- ⑦ 町民から災害危険箇所や災害現場の報告があった際には、工事等の対策の有無に関わらず、その方針を町から関係者に対して、具体的な内容を回答すること。加えて、町民から要望を受けている事業の進捗状況についても、関係者に定期的に報告すること。

口頭による意見として…

- ① 鳥獣捕獲員の確保のため、狩猟免許の取得の推進を図ること。
- ② 町の補助団体である(一社)美郷町観光協会については、観光客誘致など町の経済効果に資する活動になるよう指導すること。

ポイント

「付記事項」とは…

審査の結果に審査事項に対する要望等を付け加えるもの。

令和6年第3回定例会は、9月4日から9月18日までの15日間開催され、補正予算をはじめ、工事請負契約等、計18件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

補正予算	条 例	工事請負	その他
9件	6件	2件	2件

災害復旧に向けて

台風10号災害の対応に伴う測量設計や災害査定用写真等の撮影、重機借り上げ料など補正し、災害復旧に取り組む。



▲2級町道 山瀬橋・長崎線 菊田商店付近

- 農地・農業用施設災害復旧費
5,946万円
- 林業施設災害復旧費
1,950万円
- 道路橋梁災害復旧費
1億570万円

鳥獣被害対策について

野生猿対策事業 105万円

西郷地区では、例年に比べ野生猿による被害が急激に増加しており、迅速な対応を求める要望が増加しています。

猟友会と連携して、追い払いや捕獲を試みっていますが、住宅街付近での出没割合が多いため、銃の使用が制限されています。極めて短時間での効果が必要とされています。

追払対策関連費用 667,000円

〔 電動ガン 6丁・バッテリー・充電器
ライフルケース・バイオ弾・導入指導料等 〕

野生猿捕獲檻(3基) 291,000円
その他関連用品 99,000円



◀野生猿の被害(梨園)

南郷診療所施設改修工事

南郷診療所バス待合所改修工事 972,000円

壁と天井を張り、窓枠にサッシや網戸を取り付け、患者さんの負担軽減を図ります。



▲南郷診療所バス待合所

※議案一覧・議決結果は、ホームページでご覧になれますが、QRコードでも簡単にご覧になれます。



議案一覧



議決結果

文教産業常任委員会

1. 日時 令和6年7月11日(木)
2. 場所 美郷町役場 議会委員会室

『森林組合の業務内容と課題について』

耳川広域森林組合の森林整備の状況とその課題について、説明を受けました。

令和5年度実績で耳川全体の美郷町内の造林面積は、令和5年度実績で耳川全体の約47%の248ha、また、令和4年度実績によると、県内で造林面積割合は約15%で多くの面積となっています。

課題① 働き手の確保が必要

令和1年度～令和3年度に日向市内小中学高校に木育授業や就職説明会などに参加。門川高校生を除き、中高生の殆どが林業の仕事を知らないと感じた。

対策

- ・ 職業体験や林業体験学習の実施
- ・ 耳川広域森林組合の紹介動画も作成予定、PRに努めている。

課題② 若い人が就業しても殆ど長続きしない

理由

雨天時に仕事が出来ないため、安定した収入が得られない。

課題③ 作業道の補修を待っている方が多い

現状

施業計画がある箇所を優先的に行っている。
大規模補修が出来ない状況にある。

今後は、働き手確保のために、更なる林業のPRや雨天時でも安定収入が得られる事業の開拓、また、森林整備に必要な作業道の災害復旧に、森林環境譲与税の活用が出来ないか検討すべきであると感じました。また、関係市町村と森林組合が、県に対して現場の実情を訴えるなど、森林環境譲与税の用途についての勉強会・意見交換会を実施して、より効果的な活用を県と一緒に模索してはと思いました。

議会全員協議会

1. 日時 令和6年9月18日(水)
2. 場所 美郷町役場 議会委員会室

『森林組合の加工センター閉鎖について』

【閉鎖理由】

令和2年度理事会では、北郷加工センター集約の方針が出ていたが、ウッドショックにより製品価格が高騰し、製材を継続しました。ウッドショックが終わり、令和5年度より製品価格が急落したため、また、新築住宅着工戸数の減少、住宅自体が小さくなり製品の受注が減少しており、経営継続が難しく、また今後の製品の受注の拡大が見込めず10月末を持って閉鎖することになりました。



▲北郷加工センター

議会からの質問及び回答 ※一部抜粋

Q：今後の対応については、どうなっているのか？

A：従業員には森林整備の作業員への配置転換などの希望を聞いている。跡地は、木材の受入れを引き続き行い、委託販売で選別料や手数料を受け取る。苗木販売やバイオマス炭を検討している。

Q：なぜこの時期なのか？

A：令和6年度第1四半期の赤字が昨年度の3倍であり、年度末までに約9,200万円の赤字が増える見込まれ、閉鎖を先送りすれば、益々赤字が増えることになる。

その他、経営状態や従業員への説明までの経緯、おが屑不足による畜産農家への影響などの聞き取りを行いました。

議会では、今後も加工センター閉鎖に伴う影響などを耳川広域森林組合と検証し、協議をする予定です。

『美郷町議会だより』への貴重なご意見、 ありがとうございました!

年に一度開催しております、「広報モニターさんとの意見交換会」を9月24日に開催しました。当日は、様々な視点からご意見や要望をいただき、大変参考になりました。

いただいたご意見は委員会で検討を行い、より良い議会広報誌づくりに努めてまいります。



〈いただいたご意見〉

- 表紙に人物を紹介する場合、本人の了解であれば出身地を記載してみてもどうか。
- 追跡調査で解決・改善なら良いが、追跡の甲斐なく、対処・対策ができない理由が知りたい。
- 専門用語のミニ解説がありがたい。
※印やポイントを使って、適度に解説していただければ良いかなと思う。
- 各地域の抱える課題を知ることができる。

議員のひと言コーナー

彼岸花ロード

なかしま ならお
中嶋 奈良雄 議員



秋の彼岸が近づくとつれ、小黒木街道は彼岸花で彩られ地域が明るくなります。

この彼岸花は、公民館活動で集落の人達が黒木～小黒木間の約5キロにわたり植えました。今では株が増えて、花の無い今の時期に真っ赤な花を咲かせてくれ、その様は彼岸花のガードレールの様です。夜の彼岸花も美しく、車のライトに赤い花が浮かび上がります。

今後は赤だけでなく、白、黄色の彼岸花も植えて地域を活性化していきたいものです。

子供に優しい犬でした

かわむら よしゆき
川村 義幸 議員



我が家の愛犬が、先日病気で亡くなってしまいました。

この犬は、長い間有害駆除に貢献してくれた犬でした。私が、狩猟を辞めてからも一緒に時を過ごしていました。狩猟を辞めてからも、朝散歩の時は、山に行きたくてたまらない仕草を毎日していました。現役の頃に駆除した猪、鹿は数えきれないほどです。本当にお世話になった犬でした。

農作物の獣害による被害は今日も続いています。私が現役だったら、もっと活躍してくれていたと思い、残念で悔やまれてなりません。

「としよりの日」

なす とみしげ
那須 富重 議員



敬老の日はいつから始まったのだろうか？

戦後、戦地に子供を送った親は精神的に疲労の極にあつた。この親たちに報いるために設けられたもので「老人を大切に、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」と開かれた行事がきっかけだろう。

最初は「としよりの日」として、なんと55歳以上の方が対象だったというから驚く。

今、55歳といえば油の乗り切った牽引車的存在の働き盛りである。高齢者は65歳からだが、この長寿命社会、引退するにはなんと早すぎる。

美郷町の元気びと

南郷神門 木村 勤さん



南郷神門長堀の木村理容店を営む木村勤さん(79歳)と奥さんの純子さん。勤さんは理容店を営む傍らでゴルフ練習場を管理し、ゴルフボール自動貸出機の手入れをしながら、芝刈り、コース整理をし、店の前の国道の植込みの手入れも手掛けています。

理髪店を始めたきっかけは？

親の後継ぎで仕方なくはじめ、昭和44年以来、今年で55年になります。散髪が終わって喜んでもらえることがうれしいですね。

店の前にある、国道の植込みの手入れにも余念がありませんが、いつからですか？

国の計画で歩道以外はゼブラ帯(道路に縞模様で書かれた指示表示)の予定だったが、地区民で管理すれば緑地帯にしても良いということ、自分たちで手入れするようになり、25年になります。

ゴルフ場の管理はいつからですか？

今年で15年位になります。最初は10人ぐらいで始めたけど、高齢化で減っていき、今は2人だけが残る状態です。

楽しみは何ですか？

春にはお茶畑の手入れ、夏はスイカ作りとうなぎ釣り、冬はイルミネーションの飾りつけ、ゴルフは月1回の楽しみです。

今後の目標を聞かせてください。

今の体力を維持しながら、一日一善を目標に毎日を楽しみたいです。



▲国道の植栽の手入れ

79歳とは思えない行動力で、今日も芝、植込みの手入れに余念がない。ゴルフ練習場も緑地帯も、除草後に景観がよくなったのを見るのが作業のやりがい。自分の行くところの景色は少しでもきれいにしたいという80歳目前の元気人です。

(取材 那須 富重)

美郷町の元気びと募集!

美郷町議会だよりでは、美郷町で活動している元気な人「元気びと」を募集しています。ぜひ、ご一報いただければ取材に向います。自薦他薦は問いません。ご応募お待ちしております!!

議会事務局
TEL(0982)66-3607

編集後記

大雨と竜巻台風10号が去り、暑さ残る初秋に第3回定例会が開催されました。

令和5年度決算についての審議が主であり、全議案原案どおり可決しました。

9月1日は防災の日であり、各区にて防災訓練が実施されました。

最近の自然災害では、想定以上の災害が発生しています。また、南海トラフ地震の発生確率は高くなっていると思われれます。災害の時には、自分の身は自分で守るという「自助」とし、次に「共助」に努める必要がある場合があります。美郷町HP・防災サイトをもう一度、確認しておきましょう!!

秋が深まります。秋バテ(気温の変化による自立神経の乱れ)しないようお過ごしください。

(編集)

美郷町議会

広報広聴特別委員会

広報部会

部長……山本 文男
委員……若杉 伸児

早川 節夫
中田 武満

川村 義幸
那須 富重

オブザーバー

中田 武満

※この議会だよりは1部 39.4円でできています。